

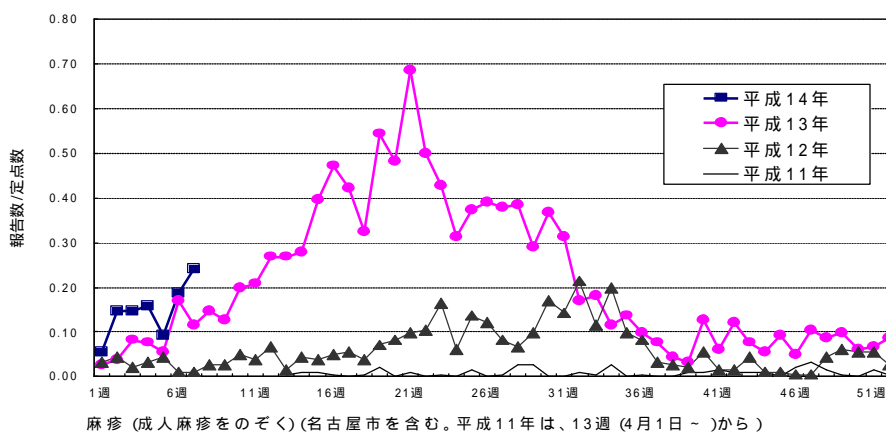
# 愛知県感染症情報

## 平成 14 年第 7 週（2 月第 2 週）

（コメント）

インフルエンザはピークを過ぎましたが、依然流行中ですので注意してください。インフルエンザの流行予測については、衛生研究所のホームページ（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）もご覧ください。

麻疹は、流行の兆しが見えます。百日咳は 1 歳以下の報告が 7 名ありました。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び水痘は、報告数が減少しています。



（定点の先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
  - ・ インフルエンザ減ってきました。6 ヶ月～12 歳まで、A 型 9 人 B 型 9 人。感染性腸炎、やや多くなりました。水痘小流行あり（一宮市 あさのこどもクリニック）
  - ・ インフルエンザ、A 型 5 名 B 型 3 名。その他インフルエンザらしき者は多いが、検査キットなく確定診断出来ず。（一宮市 後藤小児科）
  - ・ 病原性大腸菌感染者 O1 1 歳男、O6 6 歳女、O18（3 歳女、6 歳女、7 歳女）。感染性胃腸炎での学童例の多くは、インフルエンザ迅速テストは（-）、症状はインフルエンザ様です。集団発生していること、又、同様の症状の何例かは HI 法（赤血球凝集抑制反応）にてインフルエンザ A、B 確認しております。乳幼児での感染性胃腸炎はロタウイルス感染症様ですが、便ロタウイルステストでは（-）のものがほとんどで小球状ウイルスによる

ものではないかと思っています。

(尾西市 城後小児科)

- ・ 今週はインフルエンザ減少、6歳女児はインフルエンザA、B陽性でワクチン済みです。

(一宮市 平谷小児科)

- ・ インフルエンザは、A型27人、B型8人。ロタ用の胃腸かぜが目立ってきました。カンピロ1人。インフルエンザは終息しつつあります。

(犬山市 武内医院)

- ・ インフルエンザはピークの様です。A型36人、B型118人(A・Bクイック\*の結果のみ)。1月にB型、今月A型の両方感染の例2例。A型を2回(ソ連型、香港型)感染した例もあり。麻疹も小流行、手足口病も1例みられました。水痘も続発中

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

インフルA・Bクイック\* : A型及びB型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種。

- ・ インフルエンザ(26名)、嘔吐を伴う感染性胃腸炎が流行中です。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

- ・ 5ヶ月女、10ヶ月女、12ヶ月男1名女3名、1歳11ヶ月男、2歳女。2歳7ヶ月女何れもロタウイルス(+)でした。

(春日町 丹羽医院)

- ・ 麻疹が増える気配あり。

(新川町 三輪医院)

- ・ A型インフルエンザ22名、B型インフルエンザ6名

(師勝町 田中クリニック)

- 尾張東部地区

- ・ B型インフルエンザがみられますが、ワクチンの効果はあまりないようです。マイコプラズマ感染も多く、肺炎も多くみられます(6名)。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

- ・ インフルエンザは流行続いています。(ややB型が多いようですが、先週と同じで小・中・高生はB型が多く、幼児はA型が多いようです。)B型での消化器症はあまりないようです。マイコプラズマ今週も多くみられました。(インフルエンザとの混合感染例もありました。)その他、水痘、溶連菌感染症散発。

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

- ・ インフルエンザのピークはすぎたようです。B型 4人。  
(南知多町 医療法人大岩医院)
- ・ 今週はインフルエンザ A 抗原 (+) がほとんどでした。B 抗原 (+) は 2 人のみでした。  
(春日井市 かちがわ北病院)
- ・ 今週のインフルエンザは A 型 23 例、B 型 9 例、A、B とも陽性 2 例でした。  
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ肺炎 34 歳男。インフルエンザ A、B (6 歳女、7 歳男)。  
(小牧市 医療法人心正会 鈴木小児科)
- ・ インフルエンザはまだ増加しています。A >> B です。麻疹の 1 例は 32 歳男性です。  
(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ インフルエンザ A、B 流行。インフルエンザからクループ症状になる人もいる。インフルエンザ B は年長児多く、症状もインフルエンザ B は軽い。  
(小牧市 小牧市民病院)
- 西三河地区
  - ・ インフルエンザ様疾患患者内訳 (B 型 5 人 A 型 5 人)  
(豊田市 医療法人やふそ小児科)
  - ・ RSV ディレクティジェン\* (+) 10 ヶ月男。マイコプラズマ感染症 5 歳男。病原性大腸菌 O25 4 歳女。ロタウイルス腸炎 1 歳男。インフルエンザ様疾患患者内訳 B 型 8 人、A 型 7 人  
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)  
ディレクティジェン RS\* : RS ウイルスの迅速診断キット
  - ・ 5 歳男インフルエンザは、A 型 2 月 12 日発病、1 月 28 日に B 型に罹患。10 歳男水痘 (ワクチン接種済み) は 2 週間前に弟が発症。8 歳女ロタウイルス (+) 2 月 14 日に発症、妹 (9 ヶ月) が 2 月 8 日にロタウイルス (+)  
(岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院)
  - ・ インフルエンザ A 9 例 B 3 例の割合位で流行中  
(岡崎市 花田こどもクリニック)
  - ・ インフル A・B クイックで B 2 名 (双子女 10 歳)。検出用キット入手できなくなりました。  
(岡崎市 竜美ヶ丘小児科スズキ医院)

- ・ B 型インフルエンザ 20 人（全体の 2 分の 1）、A と B 3 人  
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ 年長児のインフルエンザは B 型が多い。11 歳女修飾麻疹（2 歳の時 M M R ワクチン接種）。異型肺炎 1 名  
（岡崎市 医療法人川島小児科水野病院）
- ・ 3 歳病原性大腸菌 O126（V T 1・2（-））  
（幸田町 とみた小児科）
- ・ 当院の今シーズン 2 月 17 日までのインフルエンザは計 88 名、  
（A 70 名、B 17 名、A と B 1 名）。県全体と同じく 50 歳以上は  
少なく計 6 名でした。ワクチンのせいばかりでなく他の疫学的要  
因はどうでしょうか。  
（岡崎市 粟屋医院）
- ・ キャピリア FluA・B\* の A（+）2 名（1 名ワクチン 1 回接種）。  
インフルエンザ A 型インフル A・B クイック A（+）9 名（1 名ワ  
クチン 1 回接種、2 名親子、1 名弱陽性）。インフルエンザ B 型  
インフル A・B クイック B（+）9 名（2 名兄妹内 1 名ワクチン 1  
回接種、3 名弱陽性）  
（岡崎市 医療法人永坂内科医院）  
キャピリア FluA・B\*：A・B 型インフルエンザウイルスを同時に検出する  
迅速診断キットの一種。
- ・ キャピリア FluA・B にていずれかが陽性を呈したケースのみです。  
（岡崎市 村山医院）
- ・ FluA（+）5 例、FluB（+）4 例、FluA・B 共（+）1 例  
（刈谷市 田和小児科医院）
- ・ インフルエンザ流行のピークは過ぎてきました。  
（刈谷市 まついこどもクリニック）
- ・ インフルエンザ流行中ですが、やや減少（殆ど B です）。ロタウ  
イルス腸炎も多い  
（碧南市 永井小児クリニック）
- ・ 小学生 2 人（インフルエンザ迅速キットにて A 型 2 人）  
（安城市 医療法人鳥居医院）
- ・ 乳児はインフルエンザ A、幼児、学童はインフルエンザ B が多い  
です。  
（知立市 宮谷こどもクリニック）
- ・ インフルエンザのピークが過ぎました。インフル A・B クイック A  
（+）2 人、B（+）3 人

( 三好町 三好町立三好病院 )

● 東三河地区

- ・ インフルエンザ流行中です。  
( 豊橋市 こどもの国大谷小児科 )
- ・ 今週は、インフルエンザ減少傾向となっています。  
( 田原町 かわせ小児科 )

( 1～3類感染症の発生状況 )

報告はありません。

( 全数把握の 4類感染症の発生状況 )

アメーバ赤痢患者 2 名。

クロイツフェルト・ヤコブ病患者 1 名。

第 5 週 ( 14 年 1 月 28 日 ~ 2 月 3 日 ) の 4 類感染症の全国状況

インフルエンザは九州地方、東海地方、関東地方で定点当たり報告数が増えている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑は、過去 5 年間の同時期と比較して定点当たり報告数がやや増えている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、山形県で 5.2、新潟県で 3.4、長野県で 3.0 と増えている。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、福井県で 20.0、山形県で 19.1、富山県で 17.4 と増えている。伝染性紅斑の定点当たり報告数は、秋田県で 3.3 と増えている。流行性耳下腺炎は 2001 年第 19 週より、ここ 10 年間で最大の定点当たり報告数が持続しており、2002 年も年初より報告数が増え、都道府県別の定点当たり報告数では、沖縄県で 6.4、山形県で 6.1、長野県で 5.7、石川県で 5.5 と増えている。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、宮崎県で 4.3、茨城県で 3.7 の報告がある。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供 )

愛知県感染症情報

2002年第7週 (平成14年2月11日～平成14年2月17日)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	5,139	6	112	1,159	240	13	34	88	9	0	3	44	142	1	18	0	0	0	0	0	
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	3,953	6	69	732	178	11	25	60	7	0	3	30	122	0	15	0	0	0	0	0	
名古屋	70	70	11	14	1	1,186		43	427	62	2	9	28	2		14	20	1	3							
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	362	1	8	49	13	2	1	6				5								
海部津島	津島	7	7	2	2	1	160		2	56	16		1	2		1	12									
尾張中部	師勝	4	4	1	1		113			56	3		1	4		4										
尾張西部	一宮	12	8	2	3	1	157		11	79	22		1	3		2	5		1							
	稲沢	4	4	1	1		141			47	14			2	1		6	2								
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	297		10	32	17	2	2			1	5	5								
	江南	6	6	1	2		293	3	9	45	11	1	1	2			1	4								
知多半島	半田	6	6	1	2	1	177	1	2	25	7		2	3			1	5								
	知多	7	7	2	2		273			41	6		1	6	3		3	6								
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	411		6		22		4	9		1	3	16		6						
	刈谷	6	6	1	2	1	209	1	8	8	6			2												
	安城	5	5	1	2		304		1	35		2	1	1			2	4								
	西尾	4	4	1	1	1	32		1	30	5		1			1		2		4						
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	214		3	31	10	3	4	5	1		2	9		2						
	足助	3	3		1		64			11	2		3	1				2								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	337		7	102	14	1	2	9				24		2						
	豊川	7	6	1	2	1	340		1	81	6			5				16								
東三河北部	田原	2	2				59			4	4															
	新城	2	2			1	10											5								







